

この夏、猛暑を涼しく

ゴーヤーが緑のカーテンに



地球温暖化防止の一環として、市が家庭に配布したゴーヤー(ニガウリ)が大きく生育窓一面を覆う、緑のカーテンとなり涼しい効果を上げています。

ゴーヤーは希望を募り、二百世帯へ四月に種を配布。日陰が出来ることでエアコンを使わずに済み、地球温暖化の原因であるCO₂の削減につながることで、葉から出る水蒸気で周囲の温度を下げる植物の蒸散作用などをねらいとしています。

中村松夫さん(給人町)宅ではアサガオと合わせ、幅一・八メートル、高さ三メートルの立派なカーテンに生育。手の平ほどの緑の葉が強い夏の日差しを遮り、涼しさをもたらしています。

生活環境課では栽培した家庭からの報告をもとに効果を確認し、さらに拡大していくことにしています。

叙位

正六位 故渡部隆 さん
(谷地町・六月二十八日逝去・91歳)

羽広小、北内越小、金浦中、矢島中で学校長を歴任。退職後は青少年育成本荘市民会議会長。平成五年勲五等双光旭日章受章。

第3セクター ふれあい便

●道の駅にしめ・はまなすの里
営業 朝9時～夜7時
(11月～3月は夕方6時まで)
☎ 33-4260
ホームページ
<http://www.chokai.ne.jp/menisime/>

地産地消と観光 発信拠点めざす

国直轄による東北で第一号の道の駅として平成七年九月にオープンし、おかげさまで十五周年を迎えました。八月末まで六百五十万人を超える利用実績を数え、感謝しております。物産館トイレのほか、農家直営の直売所も出来レジャー施設やハーブ園、スーパーマーケットが隣接しています。道の駅周辺イベント実行委員会による集客活動、観光協会西目支部との協働で菜の花やひまわりなどのお花畑を活用し、特産品・観光・文化のPRに努めています。

今月五日からリンゴまつりが始まります。早生のさんさ・津軽から王林、ふじなど十一月まで、農家の皆さんの直売や皮むき競争といった恒例のイベントが人気です。また、十八日から二十日には十五周年記念イベントも開催します。十二月にはハタハタまつりがあり、冬の地魚が並びます。地産地消と観光発信拠点として全国への売り込みに励んでいます。

(支配人 熊谷 正さん)



道の駅にしめからりんごジュース1本をプレゼント

読者プレゼント

「おたより」を添えてお申し込みください 9月24日(金)まで

道の駅にしめから「りんごジュース」(1ℓ)1本を5人にプレゼントします。ふだんお感じのことや広報紙に対するご意見や感想などの「おたより」を添えてお申し込みください。

■応募資格 市内にお住まいの方(応募は1人1通) ■締め切り 9月24日(金)

応募先 〒015-8501 由利本荘市尾崎17 広報課「読者プレゼント」係あて「住所・氏名・年齢・連絡先」を明記のこと。ハガキ、ファクシミリ、電子メールで。個人情報は記載内容の確認、プレゼントの発送のために使用し、この目的以外には使用しません。

二百年以上の歴史 重ねる伝統の舞

◎6月22日・赤田大仏まつり。記事感100%に掲載



主な内容
ミニ特集・
海を越えたステージで
..... ②～⑨

海を越えたステイジで

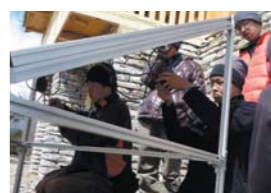
ハンガリー・バーツ市への青少年友好交流訪問が七月下旬に行われ、派遣された中学生十五人が体験や交流を通じ視野を広げました。「海を越えたステイジで育んだ友情や感動の出来事、夢」。この報告に合わせ、国際交流・協力活動などに取り組む皆さんのあふれる思いも伺いました。



1

「青少年ハンガリー友好交流訪問」 学園都市・バーツで深めた体験交流

本市の中学生十五人による「ホームステイ体験」が七月二十五日から九日間にわたりハンガリーのバーツ市で行われ、初めて踏む異国の地での社会見学や一般家庭での生活を体験しました。



今回のハンガリー共和国訪問には本荘・矢島・由利・大内・東由利・鳥海地域の中学生が参加。市教育委員会学校教育課の安藤純課長が団長となり、鳥海中学校の村上雅美教諭が引率しました。

二十五日に本市を出発した一行は同日夜、経由地のドイツで一泊。翌日、空路で入国後、首都ブダペストからバスで移動しバーツ市へ。市役所前でハンガリー日本友好協会、同学生友好協会、ホームステイ先のホ

ストファミリーたちの出迎えを受け、その夜から民泊がスタートしました。

意義な体験を経て大きく成長し帰宅しました。

子どもたちが結ぶ 友好親善の絆

バーツ市との交流は、旧本荘市が友好都市協定を結んだ平成十年にスタートし、ほぼ一年おきに相互訪問を行ってきました。

一昨年の平成二十年にはボハール駐日大使が、ハンガリー大使として初めて本市を訪問され、「子どもたち家族同士がお互いを知ることによって両国の関係がさらに深まる。今後市民同士の交流を重視します」と述べました。今回の交流事業にあたって、七月十三日に長谷部市長が都内のハンガリー大使館を表敬訪問。引き続き、友好関係の構築に尽くす意向を伝えました。



バーツ市の国立高等学校を見学後、校舎の前で（7月30日）

文化・人・歴史を学び、友好深める

八月一日、空港での見送りに再び感動しつつ、ドイツを経由し二日に帰国。有

絆

参加した団員の感想

南 彩瑛さん(本荘北中・3年)
この訪問で、日本との文化の違いなどを学び、改めて日本の良さを発見できました。触れ合いから、上手に話すことより、いかに積極的に伝えようとするのが大切なのだとも学びました。
浅田高俊 君(本荘北中・2年)
初めての外国で、建造物や食べ物などの違いを感じました。ほとんどがイエス、ノーでしたが、コミュニケーションが取れてよかった。ホストファミリーに感謝し、今度は恩返しをしたいです。
高木浩士郎 君(本荘南中・3年)
ホストファミリーは優しく、日本語を勉強してくれており、さまざまなコミュニケーションを取ることができました。帰ってから、ハンガリーの友達とメール交換をしています。
笠井友泉 君(本荘南中・2年)
ホストファミリーの中学生と一緒に過ごし、野球や卓球をしました。また、乗馬やアーチェリーを教わってもらいました。僕にとって夢のような出会い、体験に満ちた、大切な思い出です。
石川理那さん(本荘南中・2年)
パーツは歴史ある建物が並び、緑が多く、環境を大切にしている町だと感じました。ホームステイでは、自分の意思を伝え、相手に応えるために積極的にリアクションできました。私にとっての大きな成果です。
三浦温子 さん(本荘南中・2年)
目標としていた、英語で言いたいことを伝えられた時の喜びは大きく、英語をもっと勉強したいと思いました。ハンガリー語にも興味を持ち、私はハンガリーが大好きになりました。
村上 柊 君(本荘東中・2年)
英語で自分の気持ちや考えが相手に伝わることはうれしい経験でした。ハンガリーの学生たちは自分の町、国に強い愛着と誇りを持っていると感じました。学んだことを学校生活に生かしていきたいです。
秋山裕輝 君(矢島中・3年)
体得できたことは、どこで暮らしていると同じ人間だということ。外国は考え方や感情が全然違い、遠い存在でしたが、親近感を持つことができ、身近に感じられるようになりました。
石川 透 君(由利中・3年)
乗馬やアーチェリー、農場ではブタや牛に触ったりなど、初めての体験も多く、貴重なものとなりました。特に印象に残っているのは由緒ある立派な教会です。機会があれば、また訪れてみたいです。

三浦文華 さん(由利中・2年)
ホストファミリーの皆さんは優しく、いろいろと手伝ってくれたり助けてくれたりと、感謝の毎日でした。いつも優しく接してくれてうれしかった。私にとって忘れられない思い出です。
佐藤 俊 君(鳥海中・2年)
ハンガリーで会話や観光など、たくさんの方の話を学び、貴重な経験になりました。自分が大きく変わることができたのではないかと思います。研修に参加してよかったと感じています。
佐藤道哉 君(鳥海中・2年)
英語で話すのが楽しく、自分から英語やマジャー語でコミュニケーションを取れるようになり、男女関係なく交流できました。この訪問で、以前よりも友達を大切にできるようになったと感じています。
赤川優衣 さん(鳥海中・2年)
このハンガリー訪問でメンバーと仲良くなって楽しい時間を過ごすことができ、また文化の違いや世界の広さを感じる事ができました。ものの見方を広げ、世界に通用する人に成長したいと思います。

お別れ会で「ラン」を披露



遠藤成美 さん(東由利中・2年)
伝えたいという心があれば伝わる。会話をして、一緒に食事をして、一緒に歩いてコミュニケーションを取ることこそ、この体験の本当の良さです。そうでなければ、こんなに帰りたいと思わずに帰って来ることなかったのではないかと思います。
鈴木舞彩 さん(大内中・2年)
英語での会話は大変でしたが、学校で英語ができて、それを応用できなかったら意味がないことを学びました。この9日間で、物の見方が少し変わりました。学んだことを役立てていきたいです。

世界に開かれたまちづくりの約束

国際交流活動の大本の目的は、交流を通じて異なる文化や言葉の違いを越えて友情と信頼関係を築き、世界の平和と発展に寄与すること。今回の交流訪問を通して、子どもたちが現地で咲かせた笑顔の輪が確かな絆となりました。この絆は、両市の末長い発展を願い、世界に開かれたまちづくりを共に目指していく、私たちの約束でもあります。

ギャラリーの
展覧会。本市
児童の作品の
前で




巨大な像と共に 植樹した「友好の木」の成長を願って



ハンガリーの父”との別れを惜しんで

ボート市長(右)から安藤団長へ記念品の贈呈

この友好交流訪問は、次の時代を担う子どもたちが心と心の触れ合う体験を通じて、お互いに理解を深め、友情の絆を築いてもらうことがねらいです。家族同然に接する中で生まれる愛情や思いやりの一つ一つが感動を呼び、温かな思い出が市と市、国と国との友好親善の礎になっています。

ホストファミリーとの別れの日、涙で目を潤ませる団員の姿がありました。言葉や文化の違いを越えて理解し、認め合うことの大切さを実感し、深く温かな心に対して自然に湧き出た感謝の思いに違いありません。安藤課長は「名門高校の見学などを設定したパーツ市、見学先で通訳してくれた友好協会の方々、ホストファミリーの誠意あふれるもてなしなど、感動、感激そして感謝の毎日でした。これは両市間の友好交流の積み重ねによるものです。生徒がこの貴重な体験を生かしてくれるものと期待しています」と話します。

北緯47度。日本よりモ北に位置するパーツ市は、ドイツから黒海へと流れる大

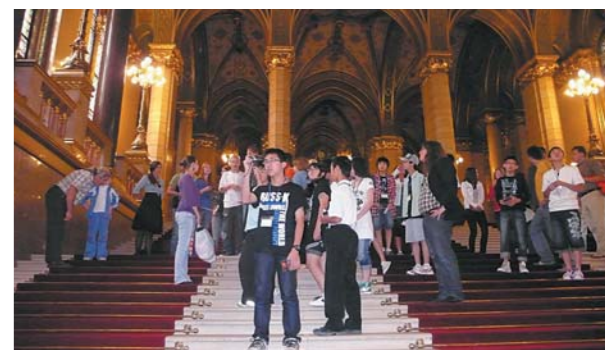
河・ドナウ川の交易中継地として繁栄し、人口は約四万人。歴史と文化に彩られる高校、大学や音楽学校などが連携を図る教育熱心な学園都市です。本市の子どもたちが中欧の街並みや教育人柄などに接するには、好適のステージと言えます。

世界に開かれたまちづくりの約束

国際交流活動の大本の目的は、交流を通じて異なる文化や言葉の違いを越えて友情と信頼関係を築き、世界の平和と発展に寄与すること。今回の交流訪問を通して、子どもたちが現地で咲かせた笑顔の輪が確かな絆となりました。この絆は、両市の末長い発展を願い、世界に開かれたまちづくりを共に目指していく、私たちの約束でもあります。



市長歓迎式を終え、パーツ市庁舎前で



国会議事堂内部を見学

夢のような体験、大切な宝物



友好交流
訪問
アルバム

夜景を堪能



絆は次への
約束

この友好交流訪問は、次の時代を担う子どもたちが心と心の触れ合う体験を通じて、お互いに理解を深め、友情の絆を築いてもらうことがねらいです。家族同然に接する中で生まれる愛情や思いやりの一つ一つが感動を呼び、温かな思い出が市と市、国と国との友好親善の礎になっています。

ホストファミリーとの別れの日、涙で目を潤ませる団員の姿がありました。言葉や文化の違いを越えて理解し、認め合うことの大切さを実感し、深く温かな心に対して自然に湧き出た感謝の思いに違いありません。安藤課長は「名門高校の見学などを設定したパーツ市、見学先で通訳してくれた友好協会の方々、ホストファミリーの誠意あふれるもてなしなど、感動、感激そして感謝の毎日でした。これは両市間の友好交流の積み重ねによるものです。生徒がこの貴重な体験を生かしてくれるものと期待しています」と話します。

北緯47度。日本よりモ北に位置するパーツ市は、ドイツから黒海へと流れる大

「市内の良い所を、もっともっと知ってもらいたい」。金森福子さん（45歳・岩城内道川）は秋田を訪れる韓国・中国の観光客やテレビ局の取材陣を本市へと案内している。

中国語と韓国語の教室を主宰する金森さんに観光ガイドの協力依頼があり、その受け皿として2年前にNPO「日中韓 虹のかけはしAKITA」を設立。このほど市の外国人観光客誘致モニターにも委嘱され、先月7日には韓国人訪問団11人を天鷲村に案内し、地区の婦人会との料理教室などを通じて交流した。

「角館の武家屋敷が有名ですが、天鷲村は農家の家屋も同時に見られます。茶室も近くにあり、これを生かした交流を提案しました。一緒に岩城音頭を踊ったりという体験が再訪のきっかけになるのです」。外国からの旅行者を増やすポイントの一つとして「地元の人とのふれあいは旅行者にとって永遠の思い出です。一人一人の努力と思いやりによって、日本が、そして由利本荘市が国際社会で認められるようになるのです。自分が日本の代表だと思って、アピールしてほしい」と強調する。

岩城に嫁いで14年。「完璧でなくても、ありのままで仲良くなれたら」。国際社会で地元が生き残るために一人一人のもてなしの心や役割を大事にしてほしいと願いながらモニター活動に力を入れる。



活動を語る金森さん

誘致モニター・金森さん 誘客案内に努め、本市の観光を売り込む

由利本荘青年会議所（会員45人）では、昭和56年に韓国・梁山青年会議所との姉妹締結を行い、相互交流都市協定へと発展する下地を形成した。現在では、小学生の写生大会を開き、優秀な児童をホームステイに招待する絵画交流事業を両会議所の親善と合わせて行っている。

高原一心理事長（36歳）は「先月7～9日にも梁山青年会議所の皆さんが来県しました。今月は私たちが訪韓します。4年前の25周年記念事業では、児童の絵画を由利高原鉄道の車体に描き、アートトレインにしました。ホームステイを終えた子どもの親御さんから『向こうの方々から親切にしてもらってよかった。一人で行かせて大丈夫だろうかと心配したが、大きくなって帰って来た』などとお礼の手紙をいただきます。子どもたちが国際意識を高める、青少年育成の意味が大きい」と総括。

国際交流担当・佐藤健副理事長は「子どもは素直ですので、半日もあれば仲良くなります。私たち大人も子どもたちに学び、相手の言葉で交流できるようにならなければなどと教えられます」と語る。

いよいよ来年は相互交流30周年という節目。「公益につながり、より地域に広がる機会にできれば」と、次のプランを温めている。

由利本荘青年会議所 韓国・梁山青年会議所と児童絵画で交流



児童の絵画に見入る高原理事長（右）と佐藤副理事長



写生風景



展覧会で

「高山地帯にある山村の学校に電灯をともそう」。県立大学システム科学技術学部の学生研究グループが「ヒマラヤプロジェクト」と題し、平成13年からネパールやモンゴルで発電装置の設置などを続けている。

今年2月には白井哲志さん（3年）をリーダーに学生7人とプロジェクト発足からかわる武田紘一特任教授、二村宗男助教がマナスル山にあるサマ村の小学校に太陽光発電の電灯システムを設置した。一行はカトマンズからバス9時間と登山8日をかけて標高3500mの現地へ移動。同校は登山家の野口健さんが理事長を務めるNPO法人が建設したもので、メンバーは1.5m四方のソーラーパネル（248円）や制御回路などを設置。寮の全室やトイレの電灯が50人の児童の笑顔を照らした。

活動に引き込まれ、入学直後から参画する白井さんは「明るい中で勉強できるようになった、ありがたいとのメールがとてうれしい。次は完成したばかりの校舎に電灯を引くために準備中です。大学祭のバザーの売り上げも資金にします」と充実感に満ちた表情で語る。二村先生は「ソロプチミスト本荘の方々や卒業生の篤志など、多くのご協力に感謝します。貢献やボランティアというよりも、学生の勉強の場になっています。ここで身に付けた力を将来に生かしてほしい」と期待を寄せる。



打ち合わせをする二村先生と白井さん（右）

県立大生が学生研究 ネパールの小学校に「太陽光発電装置」設置

ヒマラヤ山脈のふもと、村落から離れて建つ小学校。パネル組立てと配線作業に3日間を費やした。翌々日には下山の途に。



親善・支援・協力
自発的な住民レベルの活動、活発に
商業活動は別として、市内の団体などが外国との交流を行っている事例はないだろうか。周囲に聞いて回ったところ、さまざまな活動を進めているの方々には接することができました。「継続は力なり」。地域の中で取り組みを続ける、民間主体の自発的な活動を紹介します。

International exchanges

継続

3

BRONZE (ブロンズ)

念願の海外初進出、観衆魅了し大反響!!

モントルージャズフェスティバル(スイス)に参加し、7月13日の野外ステージで演奏したブロンズ。海外初進出にもかかわらず、満場の観衆を魅了し、大きな反響を呼びました。リーダーのRYUMAさんからいただいたリポートをご紹介します。

結実



会場を包む拍手とコールに応えて



和と洋の融合した楽曲が聴衆を魅了



Report of 44th Montreux Jazz Festival

July 02 - 17 2010

モントルージャズフェスティバルは今年で四十四年目。ジャンルを問わず、厳しい基準を突破した者だけが参加できるという、歴史ある祭典です。参加への喜びと共に、海外初演奏、電圧の違いや機材運搬など、さまざまな大きい課題がありました。

当日は言葉の壁(フランス語が主)に阻まれ、スタンバイ時にはアクシデントも発生。リハーサルなしの「本番で調整しながら」という幕開けに、全員がパツと切り替えて演奏しました。一曲目が終わった瞬間、ドツと地響きのような歓声と拍手が湧き、「ああ、受け入れてもらえたんだ」と感じました。

無名の上、オリジナル曲のみの演奏。世界中から音楽ファンが集まる約三千人収容のフリ会場はまさしく実力が試される場でした。興味があれば去っていきけるからです。その九十分間の演奏中ほとんど人が増え、一曲毎に曲に引き込まれて聴いてくれているのをステージの上から感じました。やがて通路がなくなるほどの超満員、アンコールもいただきました。ブロンズブラスには人が殺到し、その声に驚き、感動しました。ライブでは一切バンド紹介はしていないにもかかわらず、常に音で伝えたいと思っていたことを、そのまま逆に感想としていただいたのです。やはり心や音楽は伝わる、国境はないですね!

翌日は宿泊先のホテルやバスの中、歩いて移動中も、多くの方々から声をかけていただき「海外先行」と言われてきたことが今、一つの答えとして形になりました。常に貫き動くの繰り返し片田舎に居ながらも、きっかけを掴めたのかもしれません。

今後は全国、世界へ範囲を広げますが、もちろん地元でも活動します。ファンの皆さまがあつてこそブロンズ、これからも応援よろしくお願いたします。最後に、機材・楽器運搬費は、ご支援くださった皆様、由利本荘市のお蔭(かげ)で補うことができましたことをメンバー一同、心から感謝申し上げます。

繋がる

近年、海外旅行に出かける日本人の数は年間千六百万〜千八百万人で推移。外国旅行や地域で外国人を見かけることもさほど珍しいことではなくなった現在、グローバルゼーション(国際化)という言葉が以前よりずっと身近に感じられるようになりました。

しかし、皆さんは、国際交流は行政が行うものとのイメージを抱きがちで「外国語なんて話せないし、よくわからないから」と敬遠してはいませんか。交流とは「異なる地域・系統の人が互いに行き来すること」。国際交流の舞台は海外だけでなく、国内、地域での交流も含まれます。国、県が中国や韓国からの

旅行者を呼び込む観光戦略を掲げ、本市も誘致促進への取り組みを開始しました。誘致モニター(金森さん)は、「こんにちは。を意味する韓国語・アニョハセヨと話しかけてほしい」と話し、由利本荘青年会議所の高原理事長も「地域に広がる活動を進めたい」と期待を膨らませています。親交の輪を広げ、人と人とのつながりを深めることこそが交流ではないでしょうか。論語の中の孔子の言葉「近き者説(とく)び、遠き者来(き)る」は、地域に住む私たちが「いい所で、楽しいですよ」と笑顔になることで噂になり、それを聞いて遠くの人が自然にやってくるという意味です。国際交流

ミニ特集 海を越えたステージで / 完

Information

国際理解講座
「私から見た日本～そして祖国」

本市にお住まいの外国出身の方からお話を伺います。

日時 9月8日(水) 午前10時～11時30分

講師 渡辺ジュリエットさん(イタリヤ出身)

日時 9月15日(水) 午前10時～11時30分

講師 小松アニーさん(インドネシア出身)

会場 本荘勤労青少年ホーム

定員 30人(託児あり・要予約)

問い合わせ先 本荘公民館 ☎22-0900

J A I C A ボランティアを募集

独立行政法人国際協力機構による青年海外協力隊、シニア海外ボランティアの募集説明会が開催されます。

青年海外協力隊

日時 10月16日(土) 午後2時～4時

会場 アルヴェ(秋田市)

シニア海外ボランティア

日時 10月16日(土) 午前10時半～12時30分

会場 アルヴェ(秋田市)

問い合わせ先 JICA東北 ☎022-223-4772

もっとトピックス



木に親しみ、学ぶ
西目高校生が林業体験

西目高校土木系列の3年生10人が8月4日、東由利地域法内の山林「山遊庭の森」でスギの枝打ちや間伐作業を体験しました。体験学習は県の本年度の森づくり県民提案事業に選ばれた同校の「木育スクール2010」の活動のひとつ。山林の所有者で東由利林業懇話会メンバーの阿部重助さん(72歳)や県内の森林ボランティア、本荘由利森林組合の職員の指導のもと、生徒たちは懸命に作業に取り組みました。



猛暑の中60人が参加
じゃがいも掘り体験

東由利グリーンツーリズム研究会(金子拓雄代表)主催の「じゃがいも掘り体験」が8月8日、東由利地域の老方地区で行われました。34度を越す猛暑に見舞われましたが、土の中からじゃがいもを掘り出す作業に、皆暑さを忘れて精を出しました。作業後は、同研究会スタッフが準備した「特設農家レストラン」で昼食。フランス鴨のゆで卵やもぎたてのゆできび、煮じゃがいもなど、おいしい料理に舌鼓を打ちました。



先祖へ思い馳せ220発の華
送り盆花火大会

本荘地域の鳥田目ヶ沢橋周辺で8月15日、「送り盆花火大会」が行われました。お盆を家族、親族と一緒に過ごし、先祖への慈しみ、家族愛を深めてもらおうと、送り盆花火実行協議会(小松義博会長)が企画運営したもので、今年度の地域づくり推進事業のひとつです。小松会長は、「お盆期間の行事として認知してもらい、市を送り盆花火の里として内外にアピールし、地域おこしの一助になれば」と話していました。



ハイレベルな熱い戦い
全日本ローラーホッケー選手権

市総合体育館で8月19日~22日、第51回全日本ローラーホッケー選手権大会・第23回全日本女子ローラーホッケー選手権大会(日本ローラースポーツ連盟主催)が開催され、全国各地の社会人クラブや大学のチームが出場しました。世界選手権大会の選手選考を兼ねた今大会、日本を代表する選手たちの最高レベルのプレーが繰り広げられました。男子はMJクラブ(東京都)、女子はMJクラブ(同)が優勝に輝きました。



地元・長谷川さんが優勝
第27回本荘追分全国大会

郷土の民謡「本荘追分」を後世に継承し、唄による地域振興を図ろうと、第二十七回本荘追分全国大会(市商工会主催)が八月二十二日、本荘文化会館で開催されました。今年の出場者は年少・青年・大賞の部合わせて九十六人。全国各地から集まった唄い手が情緒豊かな歌詞を独特の節回しで披露し、大勢の観衆を魅了しました。大賞の部で優勝に輝かれた長谷川洋子さん(60歳・石脇)は、念願の優勝に歓喜の涙を浮かべていました。



奉納芸能にぎやかに
赤田大仏まつり

二百年以上の歴史を持ち、全国的にも珍しい神仏混交の祭り「赤田大仏まつり」(県指定無形民俗文化財)が八月二十二日、本荘地域の赤田地区で行われました。前日に神社で一夜を明かした大仏の分身である観音様を、若衆がみこして担ぎ、獅子舞や社切などの奉納芸能の行列をなして長谷寺へ帰るこの祭り。にぎやかなお囃子に合わせた舞や踊りとともにみこしが奉納され、大勢の観衆はご神体を手を合わせ五穀豊穡や無病息災を祈っていました。



伝統の舞 観衆を魅了
第37回鳥海獅子まつり

「第三十七回鳥海獅子まつり」が八月十六日の夜、鳥海健康広場で開かれました。約三百年前、京都から訪れた本海行人によって伝えられたという本海番楽(国記録選択無形民俗文化財)は現在、鳥海地域の十三講中が受け継いでいます。今年も、本海番楽七講中と神楽獅子の一保存会、また、特別出演として若手県無形民俗文化財に指定されている幸田神楽が演目を披露。かがり火がたかれた幻想的な雰囲気の中、伝統文化の数々と鳥海の地に引き継がれてきた力強い舞が観衆を魅了しました。



平和の誓い新たに
市戦没者追悼式

市戦没者追悼式が八月二十日、本荘文化会館で行われ、遺族など四百五十人が参列。先の大戦の戦没者を悼み、平和への思いを新たにしました。式では、長谷部市長が「ふるさと家族の行く末を案じながら亡くなられた皆さまの心情とご無念に思いを馳せ、心からご冥福をお祈りいたします」と式辞。また、市遺族会の阿部勇会長が「平和で豊かな生活ができる暮らしの中、私たちは平和の尊さ、有り難さ、戦没された皆さんに対する哀惜の思いを新たにしています」と語りました。続いて来賓や各遺族会の代表が慰霊塔に白菊を献花。合わせた手には、終戦から六十五年がたった今なお消えない悲しみと平和への強い願いが込められていました。



漫画家・矢口先生迎え盛大に
第40回子吉川鮎釣り大会&矢口杯

子吉川水系漁業協同組合(三浦勉組合長)主催で矢島町漁業繁栄会(吉尾正憲会長)運営の「第四十回子吉川鮎釣り大会&矢口杯」が八月八日、矢島地域の坂之下橋付近を会場に開催され、県内外から参加した七十人が鮎の釣果を競い合いました。四十回目の今回は、漫画「釣りキチ三平」の原作者で漫画家の矢口高雄先生の協力を得て「矢口杯」と銘打つての開催。七日は前夜祭として「矢島町鮎祭り」を同地域の日新館で開き、参加選手と家族、地域住民、矢口先生にも駆けつけていただき、大会ムードを盛り上げました。

市民が行う地域づくりを支援します
平成23年度「地域づくり推進事業」
「補助金対象事業」を募集開始

地域の活力増進と連帯感の創出を図り、地域活性化に効果が期待される「文化・交流事業」「観光事業」「協働のまちづくり事業」など、特色ある事業を市民団体などが実施する場合、その事業費の一部を助成します。

助成を希望する団体は9月30日までに所定の「地域づくり推進事業」事業要望書を各地域の総合支所振興課（本荘地域は地域振興課）へ提出してください。

支援対象事業（平成23年4月～24年3月までの事業）
地域住民が連携し、自主的、主体的に行う「地域づくり活動・イベント」などが対象となります。

補助金の額 補助対象事業費の9/10以内（限度額50万円、ただし予算の定める範囲内）。国や県の補助金を併用する場合は、補助対象事業費から国・県補助金を差し引いた対象事業費の9/10以内とします。

補助金の決定 提出された「事業要望書」を各地域協議会の意見を基にして、公益性、具体性、費用の妥当性などを審査し決定します。

募集期間 9月30日 まで

■問い合わせ先 地域振興課（☎24-6231）または各総合支所振興課

災害救援金を募集

パキスタン洪水災害
中国豪雨災害
募集期間は、9月17日 まで、9月30日 まで

秋田銀行、北都銀行の各店に救援金専用の振込用紙が備えられています（振込手数料無料）。郵便振替でも取り扱っています。詳しくは郵便局窓口にてお問い合わせください。また、日本赤十字社窓口（市役所福祉支援課、各総合支所市民福祉課）でも受け付けています。

問い合わせ先 福祉支援課 24-6315

募 集

西目ふるさと交流センター
「かしわ温泉」指定管理者を募集

市では、平成23年4月から「かしわ温泉」の管理代行を行う団体を募集します。

公募期間 10月20日
公募参加申込書の提出 10月1日 まで

詳しくは市のホームページをご覧ください

問い合わせ先 観光振興課観光施設班 24-6376

市の臨時職員を募集します

詳細は八戸ワーク本荘に備え付けの募集要項をご確認ください。（県緊急雇用創出臨時対策基金事業）

【鶴舞温泉サービス係員補助】

募集人員 1人
雇用期間 10月1日～平成23年3月31日

勤務内容 フロントサービス、客室、浴場の点検・清掃など
勤務時間 週29時間（2交代制勤務）
応募方法 9月10日 まで、八戸ワーク本荘で発行する紹介状と市専用の履歴書を提出してください

申し込み・問い合わせ先 総務課 24-6216

【市職員の募集】
詳細は八戸ワーク本荘に備え付けの募集要項をご確認ください。（県緊急雇用創出臨時対策基金事業）

パソコン講習会の受講者を募集

対象 母子家庭の母、寡婦
受講期間など 9月29日、10月1日、4日、6日、8日の5日間 午前9時～午後4時（9月29日は午後5時まで）
受講人数 10人（受講無料、テキスト代は実費）
内容 ウインドウズの基礎、ワードとエクセルの入門と活用
会場 ひとり親家庭支援センター（秋田市）
申し込み・問い合わせ先 9月17日 まで、子育て支援課 24-6319

あなたの出合いを応援します！
フランス産ワインパーティー

あべ十全さんの司会で、東由利特産のフランス産ワインを飲みながら、和やかなムードで出合いの場をつくりまします。（協力：あきた結婚支援センター）

参加費 2千500円（昼食、鑑賞券代など）
申し込み 9月16日 まで、各地区長へお申し込みください
問い合わせ先 子育て支援課 24-6319

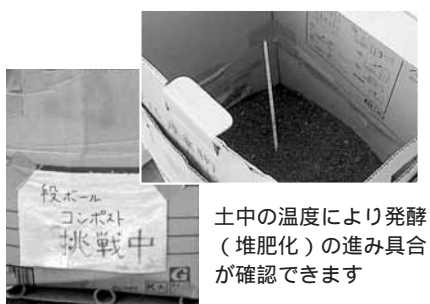


日時 10月9日 午後6時30分
分

段ボール箱を利用して
生ごみを堆肥化してみませんか

ご家庭から排出される「生ごみ」は、ごみ全体の約50%を占めます。生ごみ自体は約80%が水分。家庭からのごみを減らすには、生ごみの水分の減量が不可欠です。

段ボール箱を利用した生ごみの堆肥化活動を行っている「コンポストみなおし隊」隊長の高橋陽子さん（能代市）を講師に迎え、水分を減らしながら、生ごみを簡単に堆肥化する方法を講演と模擬実習を交え、ご紹介します。



土中の温度により発酵（堆肥化）の進み具合が確認できます

日時 10月1日（金） 午後1時30分～

会場 市民交流学習センター（上大野）
参加していただいた方には、段ボール箱・床材（微生物の入った土）・温度計・移植ペラを無償で差し上げます。参加人数に限りがありますので、お申し込みはお早めをお願いします。
申し込み・問い合わせ先

由利地域ごみゼロあきた推進会議事務局
（由利本荘保健所内） ☎22-4121

10月1日～
旅券（パスポート）の
「発給窓口」が変わります

県からの権限移譲により、10月1日から旅券の申請・受領の窓口が市役所市民課（本庁舎1階）になります。手続き方法や手数料などに変わりはありませんが、県由利地域振興局と県庁の旅券窓口での手続きは原則できなくなります。

申請できる方 日本国籍があり、本市に住民登録されている方 / 本市にお住まいの学生や単身赴任の方（居所申請）
9月30日までに県由利地域振興局で申請した旅券は10月1日以降も同局での交付となります

問い合わせ先 市民課 旅券窓口 24-6243

未来農業の「フロンティア育成研修生」を募集します

来年度4月からの約2年間、実習や講義を通じて農業経営に必要知識と技術を習得できます。研修コース（研修先） 作物・野菜・花き（農業試験場） / 酪農・肉用牛（畜産試験場） / りんご・なし・ぶどう（果樹試験場） / 花き（花き種苗センター）

応募資格 農協組合長または学

校長などの推薦が得られ、次の要件を満たす方
研修修了後、確実に県内で就農できる方 / 応募時点で年齢が40歳未満の方
その他 募集人員には制限がありません / 書類審査、面接試験があります / 研修期間中は月額7万5千円の奨励金が支給されます

【子吉川はせ釣り大会】参加者募集

日時 9月23日（木・秋分の日）
午前6時30分～10時30分（小雨決行 悪天候の場合は中止）
釣り場 子吉川由利橋から河口までの区域

参加料 200円（船釣りを希望する方は400円、ともに保険料含む）
賞品 上位の方に賞品、そのほか特別賞もあり
申し込み・問い合わせ先 9月15日 まで、市内各釣具店または大会事務局 佐々木さん 23-3784

鳥海オコジョンドスキー場
「スキーハウス食堂」経営者募集

営業期間 12月25日～平成23年2月27日
営業日 金・土、日曜の週3日間（ただし、1月は毎日営業）
営業時間 午前9時～午後4時
使用料など 使用料無料（調理台、テーブル、椅子、食器類、無償貸与します）
食堂経営に要する光熱水費は経営者負担となります
応募資格 米飯、麺類の提供ができる方 / 食堂、レストランなどを営業または業務経験者
提出書類 申込調書、納税証明書（市税、所得税）、営業許可証（写）、メニュー料金表
募集期間 9月10日～30日
申し込み・問い合わせ先 鳥海総合支所産業課 商工観光班 57-2205

【要約筆記奉仕員の養成講座】

「要約筆記」とは、話し手の内容の要点をつかみ、筆記やパソコンなどを活用して内容を伝達する、聴覚障がい者への情報保障のひとつです。

日時 10月2日～12月11日 までの毎週土曜日（計10回）
午前10時～午後4時
会場 市民交流学習センター（上大野）
対象 要約筆記者をめざす方（定員10人）

【本荘由利発明工夫展】「市芸品展」への作品を募集します

受講無料。パソコンを持参できる方はご持参ください
申し込み・問い合わせ先 9月24日 まで、福祉支援課 24-6314

【市芸品展】

会場 鶴舞会館
開催要項、出品申込書などは市ホームページからダウンロードしてください。

募集部門 発明工夫の部、特許の部 廃品利用の部
対象 市内在住の方、学生、生徒、児童、教職員
締め切り 10月8日

募集作品 一般工芸品、木工品、手芸品、機械金属品
対象 市内在住で本人が今年度中に製作したもの（他の催し物に出品したものは不可）
締め切り 10月6日
申し込み・問い合わせ先 商工振興課 24-6372





相談

市の各種無料相談

市民相談員による相談(要予約)
 日時・場所 9月2日・9日・16日 午後1時15分
 5時・市役所市民相談室
 日時・場所 9月26日 午前9時~正午・市役所附属会館2階1号室
 行政相談・人権困りごと相談
 日時 9月8日
 午前9時30分~11時30分
 場所 市役所5階 第5会議室
 消費生活相談員による相談
 日時 毎日午前10時~午後4時
 場所 市役所市民相談室
 以上の相談のほかには、市民課市民相談室と各総合支所市民福祉課の職員が対応します
 申し込み・問い合わせ先 市民課 市民相談室 24 6251

会場 ジョイナス(秋田市)
 内容 「成年後見制度の概要と事例および後見人の職務」についての公開講座と講座終了後、相談会(事前予約不要)
 問い合わせ先 司法書士 小玉久則(リーガルサポートあきた広報委員長) 018 846 7173

特許(産業財産権)無料相談会
 日時 9月16日 午後1時~4時(予約制)
 会場 市役所5階 第6会議室
 相談員 知財専門家 石川順三さん
 内容 特許(発明)・実用新案・意匠、商標など、どんな疑問やご相談にもお答えします
 申し込み・問い合わせ先 発明協会秋田県支部 018 824 4282

不動産の登記事項証明書などの様式が変更になります
 9月6日 から、秋田地方法務局で発行する不動産登記の登記事項証明書、閉鎖登記事項証明書、登記事項要約書の様式がA4判「よこ型」から「たて型」に変更になります。
 問い合わせ先 秋田地方法務局

第15回「秋田バスまつり」
 日時 9月18日 午前10時~午後3時
 会場 秋田駅前 アゴラ広場
 内容 「よい子の落書きバス」の制作・展示 バスグッズチャリティーバザー、バリアフリー教室、お楽しみ抽選会、各種出店での格安販売など
 問い合わせ先 秋田県バス協会 018 863 5349

第23回「スターウッチングinあきた」
 県内の天文愛好家の所有する望遠鏡が30台ほど集まります。月明かりもなく、天体観察にも好条件です。この機会に美しい秋田の星空を楽しみましょう。
 日時 9月4日 午後7時~開会式
 会場 南由利原高原 コスモワールド周辺
 雨天曇天時も開催します
 問い合わせ先 スターウッチングinあきた実行委員会(金実行委員長) 090 2361 3506

催し
 秋田民謡の伝承と普及、地域の活性化と芸術文化向上を目的に開催します。
 日時 9月11日 午前9時開演
 会場 市農村環境改善センター(大内地域)
 内容 大賞、高齢、年少(小学生)の三部門により日ごろから鍛えられた自慢のものを競います
 当日プログラム300円で販売します
 問い合わせ先 実行委員会事務局(大内教育学習課内) 65 2210



第14回秋田馬子唄全国大会



第10回岩城ふれあい港まつり

秋田民謡の伝承と普及、地域の活性化と芸術文化向上を目的に開催します。
 日時 9月11日 午前9時開演
 会場 市農村環境改善センター(大内地域)
 内容 大賞、高齢、年少(小学生)の三部門により日ごろから鍛えられた自慢のものを競います
 当日プログラム300円で販売します
 問い合わせ先 実行委員会事務局(大内教育学習課内) 65 2210

9月 5施設の催事案内

本市・にかほ市・遊佐町連携事業「鳥海山伝承芸能祭」
 日時 9月11日 午後2時30分
 会場 にかほ市象潟町小滝 金峰神社境内(奈曾の白滝)
 内容 本市鳥海地域の「本海番楽」のほか、9演目
 問い合わせ先 にかほ市教育委員会文化財保護課(象潟郷土資料館内) 43 2005

第15回「秋田バスまつり」
 日時 9月18日 午前10時~午後3時
 会場 秋田駅前 アゴラ広場
 内容 「よい子の落書きバス」の制作・展示 バスグッズチャリティーバザー、バリアフリー教室、お楽しみ抽選会、各種出店での格安販売など
 問い合わせ先 秋田県バス協会 018 863 5349

あきた25 わがまち 元氣自慢!! 入場無料

みんなが秋田を盛り上げよう!
 日時 9月18日(土)~19日(日) 両日とも、午前10時~午後4時
 会場 秋田拠点センターALVE (アルヴェ) きらめき広場・きらめきコート (秋田市)

図書館 Information

9月の各館行事カレンダー

10日	(岩)おはなし会 午後3時30分~	絵本の読み聞かせほか 出演:星のひとみ
11日	(本)おはなし会 午後2時~	絵本の読み聞かせ・工作ほか 出演:ゆりかごの会
18日	(矢)よみきかせ会 午前10時~11時	絵本の読み聞かせ・紙芝居・お話玉手箱 出演:ひだまり
	(本)えほんでこんにちは 午後2時~	絵本の読み聞かせほか 出演:ゆりかごの会
25日	(由)9月の読みきかせ会 午後2時~3時	絵本の読み聞かせ・紙芝居・お話玉手箱 出演:ひだまり
	(出)おはなしのへや 午前10時30分~	絵本の読み聞かせ・紙芝居ほか 出演:すずめの巣
29日	(本)文学散歩 「藤沢周平記念館」を訪ねて 午前8時 本荘図書館出発 参加費 2,500円 (入館料、昼食含む) 募集人員 先着30人	山形県鶴岡市鶴岡公園内に今春開館した「藤沢周平記念館」を訪ねます。お申し込みは9月3日 から、本荘図書館へ(22-4900)

企画展示

本荘図書館	「藤沢周平」特集(文学散歩にちなんで)(一般閲覧室) 「けいろうの日、おじいちゃん・おばあちゃんの本」(児童閲覧室)
岩城図書館	作家「林真理子」特集・「ダイエット」特集 今月の絵本「安房直子」
由利図書館	「話題の主婦作家特集」・「絵本作家 木村裕一/きむらゆういち」特集

本荘図書館は19日、20日、23日~30日は蔵書整理のため休館となります

県内各市町村で今、最もアツいイチ押しを屋台で紹介する「イチ押し屋台村」での展示・販売(本市からは花立牧場工房ミルジー・移動販売車や特設「元氣ステーション」でのパフォーマンス(能代北高書道ガールズ、龍神太鼓仙北市)ほか)など元氣いっぱいのお楽しみを元氣に盛り上げて、秋田を元氣にしていきます。
 問い合わせ先 NHK秋田放送局ハートブ 0118 8111

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1			
木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水			
東証の森講演会 13時~14時30分				ダンスパーティー 13時30分~16時	肝臓撲滅運動 由利本荘地区市民公開講座 14時~16時(13時30分開場)		第57回はせ釣り大会 6時30分 参加料あり	「夏の花のドライフラワー展」(10月3日)	市民講座「成年後見制度について」(場所:本荘勤労青少年ホーム) 13時30分~15時	フィットネスジム登録講習会 13時30分 登録料あり	由利吹奏楽団定期演奏会 14時~16時30分 入場料あり	ぼほCD 2010 for bog(19日) 8時~21時(19日は18時まで)	第15回アイ・アート・クラブ絵画展(20日) 文化会館2階 9時~17時(17日は13時、20日は16時まで)	シバルカレッジ・鳳山学園(場所:文化会館2階) 10時~正午				第23回鈴木ピアノ教室チャリティピアノコンサート 13時~17時(12時30分開場)	第31回市民ポト大会「子吉川レガッタ2010」 8時~	第1回秋田スポーツ祭典クラブ対抗卓球大会 8時~21時	芸術鑑賞教室「奇跡の人」(中学校の部) 9時30分~11時	芸術鑑賞教室「奇跡の人」(中学校の部) 9時30分~11時	市民講座「思いやり」の力」(場所:本荘勤労青少年ホーム) 13時30分~15時	芸術鑑賞教室「走れメロス」(小学校高学年の部) 9時30分~10時50分 13時30分~15時	第20回県レディースバドミントン個人戦大会 8時~17時	第36回市職場対抗バレーボール大会 8時~17時	第33回本荘陶芸クラブ作品展(7日) (場所:文化会館2階) 9時~19時	社交ダンスパーティー 13時45分~16時 参加料あり	スボ少種目別交流会(卓球) 8時~18時			

地域情報コーナー

本荘地域

本荘中央児童館「ミニ運動会」
日時 9月11日 午前10時～11時30分
会場 本荘中央児童館
内容 宝ボウリング、三色オセロ、色別リレーほか(参加無料)
持ち物 賞品を入れる手さげ袋
問い合わせ先 本荘中央児童館 (22-3489)
本荘生涯学習創作展の作品募集
対象 生涯学習活動で制作した作品
展示期日 10月23日～24日
会場 本荘文化会館地階会議室
申し込み・問い合わせ先 9月30日 まで、生涯学習課(24-6284)
アクアパルからのお知らせ
「カヌー教室」に参加しませんか
日時 9月26日 午後1時～4時
会場 子吉川(アクアパル集合)
対象 小学校3年生以上(小学生は保護者同伴)
定員 先着20人
参加料 500円(保険料)
持ち物 タオル、着替え
申込期限 9月24日

市民レガッタ2010「第31回市民ボート大会」 9月12日(日)開催!

フリーマーケット「水辺のまち市場」
日時 9月12日 午前9時～午後3時(雨天時中止)
会場 アクアパル南側正面広場・屋外35区画(1区画=約1坪)
内容 不用になった日用雑貨、衣類、書籍など(出店料無料)
申込期限 9月9日

フィットネスジム登録講習会

日時 9月19日 午後1時30分～
会場 アクアパル
定員 先着20人
年会費 一般=3,150円、学生=1,575円(ともに税込み)
事前に電話などで申し込みください
中秋の名月に集う「月見の宴」
中秋の名月を見ながら、秋の夜長を歌と踊りで心と体を癒しませんか。女性合唱団による合唱、舞踊や尺八などの演奏を行います。
日時 9月22日 午後6時開演
会場 子吉川「せせらぎパーク」
河川敷(本荘第一病院裏)
雨天の場合は中止とします
問い合わせ先 アクアパル (22-5611)

本荘公民館からのお知らせ

市民講座を開催します(入場無料)
日時 9月21日 午後1時30分～3時
会場 本荘勤労青少年ホーム
演題 成年後見制度について
講師 秋田地方法務局
本荘支局長 加藤孝夫さん
定員 先着30人

「史跡探訪」参加者募集!

日時 10月2日 午前9時～午後3時
内容 本荘公民館発着のバスで、森子大物忌神社(由利)と矢島郷土文化保存伝習施設、木境大物忌神社(矢島)を見学
昼食は各自ご持参ください
対象 市内在住の20～80歳までの方で、定員25人
申し込み 9月21日 までの平日午前9時～午後5時
申し込み・問い合わせ先 本荘公民館(22-0900)

西目地域

「西目ふるさと再発見」講座を開催
日時 9月22日、29日、10月6日 午前10時～11時30分、13日(現場学習) 午前9時～11時30分
会場 西目公民館シーガル
申し込み・問い合わせ先 9月15日 まで、西目公民館シーガル(33-2315)
保健センターからのお知らせ
9月の集団指導室 開放日
広いスペースで親子のふれあいをおもいきり楽しんでください。
開放日時 14日、17日、24日の午前9時～11時30分
保健センター健康相談
時間 午前9時～11時30分
【母子相談日】 9月14日
お子さんの成長発達や健診・予防接種・病気のことなど
【一般相談日】 9月17日
あなたや家族の健康状態、悩みごとなどをご相談ください
「かしわ温泉」健康相談
日時 9月16日 午前10時～
問い合わせ先 西目保健センター(33-3983)

家族みんなでおいでください!

「西目健康まつり」

日時 9月12日 午前9時～
会場 道の駅「にしめ」
内容 健康チェックコーナー
生活習慣病予防コーナー
手作りおやつ試食コーナー
はつらつちびっこの写真展示
問い合わせ先 西目保健センター(33-3983)

「ふれあい保育」に遊びにきてね
西目保育園で、今月は「あつまれ!歌あそび」を行います。
日時 9月15日 午前9時30分～10時30分
対象 0～3歳の未就園児と保護者
問い合わせ先 西目保育園 (33-2022)

矢島地域

公共施設休館日(9月)
日新館 19日
青少年ホーム 11日の夜間、12日、日曜・祝日の夜間
矢島教育学習課(56-2203)
寿康苑 5日、13日、19日、27日
寿康苑(56-2940)
福祉会館 26日
福祉会館(56-2205)
保健師による「寿康苑」健康相談
日時 9月21日 午前9時30分～11時
新荘方面の送迎の日です
問い合わせ先 寿康苑 (56-2940)

東由利地域

「陶芸教室」を開催します
土練り、成形、うわぐすり、完成披露
日時 【夜の部】午後6時～9時...
10月22日、23日、
11月13日、20日 / 【昼の部】午前10時～午後4時...
10月24日、25日、
11月14日、21日
会場 東由利陶芸工房(道の駅東由利裏)
対象 中学生以上
定員 各部とも先着15人
参加料 一般1,500円、中高生500円
申し込み・問い合わせ先 東由利教育学習課(69-2310)

「花立パークゴルフ場」
芝の張り替えと橋補修工事のため、9月3日から(11月5日まで)ご利用になれません。

「鳥海山矢島口袈川」
袈川の木道の一部を工事するため、9月上旬から下旬にかけて一部片側通行となります。
ご不便、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします
問い合わせ先 矢島総合支所産業課(55-4953)

国保の保険証を更新します

●新しい保険証をご自宅へ配達します

10月1日から使用する新しい保険証(国民健康保険被保険者証)は、9月中旬以降、順次ご自宅へ配達いたします。
有効期限の切れた保険証はハサミなどで裁断し、破棄してください。

●新しい保険証の有効期限は「平成23年9月30日」まで

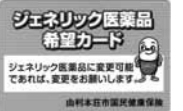
ただし、次に該当する方は有効期限が以下のとおりとなります。
有効期限前に「75歳の誕生日」を迎える方
誕生日の前日が有効期限となります。誕生日から「後期高齢者医療制度」に変わります(誕生日前に後期高齢者の保険証が送付されます)。
「退職被保険者証(薄藍色)」が送付された方で、平成23年9月1日以前に「65歳の誕生日」を迎える方
誕生月の末日(1日生まれの方は誕生日前日)が有効期限となります。後日「一般被保険者証」が送付されます(被扶養者も同様)。

●会社の健康保険への加入、転出などの際は届け出をお忘れなく

社会保険などへ加入したときは、新しい保険証と国保の保険証を持参の上、資格喪失の届け出をお願いします。転出・転居の際は、異動した方の保険証を、また、世帯主の変更の際は世帯全員の保険証を市民課または各総合支所市民福祉課へご持参ください。

●「ジェネリック医薬品希望カード」のご活用を

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、先発医薬品と同等の効能効果を持つ医薬品で、費用が安く済みます。このカードを医療機関や薬局に提示することで、相談ののってもらうことができます。



●「臓器提供意思表示シール」について

保険証の様式が変わり「臓器提供に関する意思表示欄」を設けることになりましたが、本年度の保険証には意思表示欄がありません。このシールを貼ることで意思表示を行うことができます。
「ジェネリック医薬品希望カード」「臓器提供意思表示シール」をご希望の方は市民課または各総合支所市民福祉課へおいでください

◎国保に関するお問い合わせは

市民課国保年金班(24-6245) 各総合支所市民福祉課

あなたがかけた 119番 緊急ですか 本当に!!

9月9日は「救急の日」

9月5日～11日は
救急医療週間

「救急車」の適正な利用を!
本当に救急車を必要としている方を救うため、大切な命を救うために適正利用にご協力をお願いします。本市の救急出動件数は年間約2,700件。10年前の1.5倍に増えています。

早い「119番通報」を!
急に意識がなくなったり、呼吸が止まってしまったときはもちろん、意識がもうろうとしたり、胸や息が苦しいときなどには、119番に通報して救急車をすぐに呼ぶ必要があります。119番通報は「どこで、誰が、どうしたのか」を落ち着いて伝えてください。



「応急手当て」を身につけよう!
救急隊が到着するまで、平均6～7分かかります。それまでそばに居合わせた人が救命手当てを行うことで、大切な命を救うことができる可能性があります。救命講習会を受講して、AED(自動体外式除細動器)の使用手法や応急手当てを身につけましょう。

問い合わせ先 市消防本部 救急課(22-4282)

市塗装組合(加入26社)と市塗装工業組合(加入13社)が、8月21日、地域貢献活動の一環として、「本荘マリナー海水浴場管理棟」を塗り替えました。炎天下の中での作業、大変ありがとうございました。



本荘マリナー海水浴場の管理棟を塗装し、市塗装工業組合・市塗装組合の協力を得て、塗り替え作業を行いました。

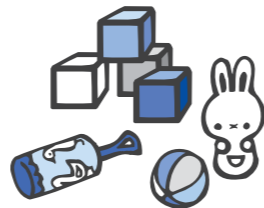
善意

訂正・おわび
8月15日号本紙7頁「特定計量器」の定期検査を実施します」中、9月3日の実施場所は「西目総合支所」の誤りです。おわびして訂正します。

お誕生おめでとう

(8月1日~15日受け付け)

伊藤 莉愛ちゃん (健さん) 二番堰	畠山 蒼馬ちゃん (和幸さん) 三条	佐々木歩汰ちゃん (慎太郎さん) 岩城赤平
柳沢ここ菜ちゃん (博行さん) 石脇	今部 葉月ちゃん (聖都さん) 川口	木内 凜ちゃん (衛さん) 東鮎川
小野 愛ちゃん (博章さん) 土谷	小池輝明来ちゃん (光晴さん) 表尾崎町	小笠原 唯ちゃん (征さん) 松本
鈴木 愛七ちゃん (勇さん) 石脇	須田 羽奏ちゃん (光さん) 花畑町	伊藤倫太郎ちゃん (慎さん) 葛岡
小野 功誠ちゃん (誠二さん) 薬師堂	大友 凜夏ちゃん (貴文さん) 三条	齋藤 希愛ちゃん (幸太さん) 岩谷町
佐々木玄仁ちゃん (克仁さん) 大嶽町	今 希海ちゃん (優さん) 石脇	鈴木 蒼弥ちゃん (弘和さん) 東由利宿
佐々木真莉ちゃん (武彦さん) 石脇	茂木 梨乃ちゃん (清和さん) 石脇	
進藤 康祐ちゃん (健一さん) 東梵天	阿部 葉月ちゃん (広夫さん) 葛法	
菊地 倅生ちゃん (茂樹さん) 石脇	遠藤 怜佳ちゃん (衛さん) 矢島町新莊	
金子菜々美ちゃん (満さん) 石脇	石川 琥大ちゃん (義範さん) 矢島町元町	



どうぞ やすらかに (8月1日~15日受け付け) 「お誕生」「おくやみ」欄に掲載を希望される方は、市民課(総合支所市民福祉課、出張所)窓口にお申し出ください。

加藤院二さん (旧大内町功労者・中俣) 8月6日永眠されました。昭和52年1月から13年間にわたり中俣町内会長を務められ、住民自治の向上と町政の円滑な推進に尽力されました。昭和62年旧大内町自治功労表彰。83歳。	高橋 英雄さん (石脇・73歳)	遠藤 勝美さん (赤田・74歳)	遠藤 與吉さん (徳沢・84歳)
佐藤進さん (民生委員・児童委員・松ヶ崎) 8月11日永眠されました。平成19年12月から民生委員・児童委員を務められ、民生の安定と社会福祉の向上に尽力されました。60歳。	猪又 藤三さん (中梵天・88歳)	山科 トミさん (矢島町城内・86歳)	六鎗サタ子さん (東由利蔵・82歳)
	佐々木ヤスミさん (石脇・95歳)	小番 芳治さん (矢島町元町・60歳)	遠藤 ユリさん (東由利法内・95歳)
	渡部 光子さん (谷地町・94歳)	佐々木正美さん (矢島町川辺・81歳)	佐藤マサ子さん (東由利老方・77歳)
	小松ミキ子さん (赤沼町・85歳)	半田五十二さん (矢島町七日町・86歳)	佐々木長作さん (西目町沼田・95歳)
	石川 浩治さん (石脇・74歳)	佐々木スズさん (岩城赤平・88歳)	釜台 イサさん (西目町出戸・75歳)
	渡部 秀子さん (船岡・85歳)	工藤 アキさん (岩城上蛇田・89歳)	小沼 乙造さん (鳥海町上笹子・80歳)
	工藤 孝一さん (小人町・71歳)	渡部 正康さん (岩城勝手・79歳)	佐藤トクエさん (鳥海町下笹子・92歳)
	佐藤 生子さん (谷山小路・80歳)	工藤 鐵藏さん (岩城上蛇田・83歳)	柴田 良造さん (鳥海町上直根・84歳)
	佐藤キクノさん (石脇・83歳)	田口キクエさん (岩城二古・92歳)	池田 廣男さん (鳥海町上川内・85歳)
	多賀部 昇さん (東梵天・76歳)	伊藤賢次郎さん (山本・81歳)	
須田 順一さん (松街道・56歳)	湯田 忠一さん (赤田・85歳)		
高野 繁さん (石脇・77歳)	佐藤サダミさん (薬師堂・84歳)		
眞坂 由男さん (赤沼町・93歳)	荘司キミ子さん (西梵天・81歳)		
菅生 寛二さん (後町・79歳)	安部 洋佑さん (後町・12歳)		
木内 武さん (大嶽町・72歳)	佐々木盛一さん (船岡・62歳)		

第34回本荘陶芸クラブ作陶展
期間 / 9月5日 ~ 7日
午前9時~午後7時
(7日は午後6時まで)
場所 / 本荘文化会館地下会議室
問い合わせ / 会長 今野さん
22 - 1828

石田ゆうすけ講演会 (入場無料)
7年半もの間、自転車で世界一周をした作家石田ゆうすけさんの講演会です。スライドショーを通し、世界旅行を疑似体験！書籍販売、サイン会もあります。
日時 / 9月4日 午後2時~4時
場所 / 県立大学本荘キャンパス「A Vホール」
問い合わせ / 石田ゆうすけ講演会実行委員会 (フェリス化粧品内)
23 - 6476

市民伝言板
市民団体などの催しあれこれ...
※10月1日号に掲載希望の原稿は9月13日(月)が締め切りです。なお、紙面の都合などにより、要点を抜粋して掲載する場合があります。

極東ロシア フォークアンサンブルコンサート
日時 / 10月2日
午後1時30分開場、2時開演
場所 / 西目公民館シーガル
入場料 / 2,500円 (ペア4,000円)
主催 / 極東ロシア・由利本荘市絆づくり委員会
共催 / 露国親善交流推進深沢委員会
問い合わせ / 委員会事務局
小野さん 090 - 7793 - 1074

「ひなた」に参加しませんか
日時 / 9月22日
午後1時30分~4時30分
場所 / 本荘勤労青少年ホーム
対象 / ひきこもりなど、人間関係で足踏みしている若い方
問い合わせ / 三浦さん 23 - 2192

由利本荘市長杯 第13回大内地域おこしカラオケ大会兼日本歌謡協会秋田県全国大会争奪戦
日時 / 9月5日 午前10時開演
場所 / 大内環境改善センター
入場料 / 1,000円
問い合わせ先 / 正木さん 65 - 2288

「伝えよう。生命の大切さ」
生命のつながりや大切さ、性のことについて、一緒に考えてみませんか。
日時 / 9月15日 午前10時~正午 (受け付け9時30分~)
場所 / 南内越公民館
講師 / ぼっぼろうの会
代表 能勢智子さん (保健師)
対象 / 成人の方 (申し込み必要)
先着10人まで託児ありますのでご希望の方は申し込みしてください。
主催 / 命のたねの会
申し込み・問い合わせ / 菅原さん 22 - 0415 (藤井方)
(月~木曜日の午後5時~8時)

日本習字由利本荘支部書道展
たなばた競書大会への生徒出品作品を展示します。一人ひとりがそれぞれの思いを込めて精一杯の力を出し切り仕上げました。
ぜひ見いらしてください。
日時 / 9月1日 ~ 14日
1日正午~14日正午まで
場所 / アクアパル1階ミュージアムストリート
展示内容 / 幼児、小中高生、成人部の毛筆 (半紙・条幅) と硬筆作品
問い合わせ先 / 片岡さん 24 - 3716

親子DEベビーマッサージ
日時 / 9月26日
午前10時30分~11時30分
場所 / 砂子下コミュニティセンター
対象 / 生後2カ月ぐらい~ハイハイ期ぐらいまでの赤ちゃんとその保護者
参加料 / 500円
持ち物 / パスタオル1枚と赤ちゃんの飲み物
申し込み・問い合わせ / おててつないで 松本さん
090 - 5180 - 1441
月~金曜日教室でレッスン (要予約)



愛和の快適リフォームセミナー (広告)
~健康・エコ・バリアフリー&みんなに優しい暮らし~
日時: 9月4日(土) 午前9時30分~12時
会場: 愛和ショールーム (由利本荘市石脇 国道7号線沿)
会費: 無料 (お茶・菓子付) 定員: 30名 (お申込順)
第1部 『健康・エコ~炭の効用・炭の効果~』 講師/出雲屋「炭」代表 石飛裕司氏
NHKドキュメンタリーに2回出演・出雲大社にも使われている炭のお話です
第2部 『50代からのリフォームのポイント』 講師/バリアフリー・エコ・リフォーム専門 国弘建設 樋口隆三氏
これからの生活に役立つリフォーム事例をたくさん紹介します
お申込は、愛和
TEL 22-7557 FAX 22-7739 まで

新規会員募集中
本荘スイミングスクール (広告)
◆初心者コース
年長~小学生 土曜日 PM 1:15~2:30
成人(男女) 火曜日 PM 1:00~2:30
入会金 2,500円 / 保険料 600円 (4/1~3/31)
年会費 2,400円 / 月謝 5,000円
●問い合わせ先 遊泳館内 本荘スイミングスクール 代表 田口真由美
TEL 0184-22-7580
携帯 090-2792-9910
入会案内、申込書は遊泳館内の掲示板に備えてあります。

瞑想教室のご案内 (広告)
古くから崑崙山脈に伝わる瞑想法をお伝えいたします
場所 由利本荘市日役町14
問い合わせ TEL 23-1381 (午前8時30分~午後7時)
tsune33-ra@hop.ocn.ne.jp
代表 金子経治 (ひきじ町 はり・きゅう接骨院院長)

齊藤マッサージ治療院 (広告)
院長: 齊藤一三 (マッサージ師)
住所 由利本荘市岩谷町日渡241-1 (町内バス通り出羽食堂の近く)
電話 65-3254 (身二良シ)
受付 朝7時~夜6時 (予約制)
休業日 なし (年中無休)
駐車場 完備 (第1・第2あり) (出羽食堂の横小路を入り左4軒目)



激励する丹羽社長



食育事業のためにとハムフライを贈呈



熱心に聴講する参加者たち



「横手やきそば」を語る高橋さん



人気グルメを求める親子連れ



テントには常に順番待ちの行列が



プロサッカー選手との交流

手早く、おいしく



おいしいハムフライにほおをゆるませ...

地域活性化、「B級グルメ」にかける夢

薄切りのハムにパン粉を付けて揚げたハムフライは、昭和30〜40年代に本庄地域で食べられていた名物軽食。これを「本庄ハムフライ」として甦らせ、地域に愛されるB級グルメを目指す「本庄ハム民の会」がこのほど二つのイベントを開催しました。



8月6日に行われた「ハムの日」イベント

「このソースも含む」



本庄ハム民の会
今野広志 会長
(48歳 砂子下)

私たちメンバーは、地域のことを思いやる気持ちを「ハムの心」と呼んでいます。(ハムを縦に書くことと読める)

活力ある中心市街地をめざし、地域のB級グルメを生かしていこうという考えで昨年の12月にスタートして、一つの大きな目標が7月31日のイベントでした。県内他地域と同じ考えを持つ人たちの協力を得て、多くの人たちに会場に足を運んでいただくことができました。これにより、スタートラインに立つことができたかなと感じました。

今後も宣伝販売活動を通じて、魅力ある由利本庄市をPR、楽しい地域の情報の発信をしていきたいと思っております。

本庄ハムフライ公式ブログ
<http://blog.goo.ne.jp/ham-age>

続いて本庄地域三中学校の食育事業に役立ててもらうため、ハムフライを市教育委員会に贈呈。ハム材料を製造する秋田プリマ食品(株)の丹羽博和社長は、「県誘致企業第一号としてお世話になり、四十九年を数える。単なる復活ではなく、時代に即した安全安心なものを納品している。いろいろな食べ方が広がり、まちおこしの手本になることに期待したい」と激励しました。イベントは市の地域づくり推進事業の支援を得、「ぐるっと本庄」でのスタンプリーの賞品抽選会や無料試食によるソースコンテストもあり、参加した皆さんは本庄ハムフライをほおばりながら真剣にソースの味を確かめていました。

「ハムの心」(地域への思いやり)で情報発信
一昨年秋のデビューから二十回を超えるイベントを通じてファンが拡大、会員の熱意で地域に定着した本庄ハムフライ。のぼり旗が目印の食堂など、十五店舗やスーパー九店でも提供されるようになりました。イベントの様子をインターネット中継したり、キャラクターを誕生させたりなど、遊び心を忘れずに普及活動を行い、魅力ある地域づくりに貢献します」との宣言どおりに活動する本庄ハム民の会。「目指せ! B1グランプリ」を目標に掲げ、地域の中で前を向き進む同会に市内外から熱い視線が注がれています。



県内の8人気グルメ集結「B級でぐるっと本庄」

商店街の活性化などを目的とした「B級グルメでぐるっと本庄」は七月三十一日、大門通りで開かれ、横手やきそばやあいがけ神代カレー、美郷まんまなど、県内八団体が出店。家族連れやグループが食べ比べを楽しみました。

お目当てのテント前には長蛇の列ができる人気で、イベントは総計五千食を完売する大盛況に。子どもたちが商店街を巡るスタンプリーや百円ショップ、バスケット「秋田ノーザンハピネッツ」、サッカー「ブラウリッツ秋田」のプロ選手との交流会など、多彩な催しでにぎわいました。

三人の子どもたちと参加した菅野悦子さん(40歳・裏尾崎町)は、「本庄で食をテーマにしたイベントは初めてではないでしょうか。親子で楽しめ、街の活性化にもなるので、これからも頑張りたいです」と話し、大門街商店街協同組合の茜谷栄一理事長は、「区画整理事業の完成が近づいて

いることと、ハムフライの皆さんがこうして大勢の人を集めてくれたことに感謝しています」と語りました。もちろん、揚げ立てで百円という手頃なハムフライは千二百食(パーガー含む)を売り上げ、会場でも一番の人気を誇っていました。

講演やソースコンテスト、ハムの日イベント開催

八月六日には、八と六にちなんだ「ハムの日」のイベントが商工会館で開催されました。

県内屈指のB級グルメブランド「横手やきそば」に学ぼうと、同市職員の高橋智和さんを招き、「B級グルメと地域づくり」と題する講演を聴講。高橋さんは食と観光PRを結び付け、地域挙げて焼きそばを売り出してきた歩みを紹介し、「昨年のB1グランプリを制して以降の経済効果は三十四億円と試算されている。『かまくら』から『やきそば』へと、横手を認知してもらった中で極めて大きな効果もたらされた。新たな地域素材の発掘にも取り組みたい」と話しました。